

「夢、無限大」感動おばま



ふたつの日本遺産を 生かしたまちづくり

日本遺産を生かすために 小浜市文化財保存活用地域計画を作成

文化財は「保存」から「活用」へ

これまで、各地に残る伝統行事や建築物といった文化財は、保存・継承していくことが重要視されてきました。しかし、近年は全国的に文化財を保存するだけでなく、地域振興や観光交流などに活用する方針へと変わりつつあります。

その目的は、人々が文化財に触れる機会を増やし、地域の歴史や文化に対する理解を深めることや、経済的な利益によって地域社会を発展させ、持続可能な保存につなげることにあります。

全国に先駆けて地域計画を作成

市では、平成30年に文化財保護法が改正されたことを受け、文化財の保存・活用について方針を定める「小浜市文化財保存活用地域計画」を全国に先駆けて作成しました。

計画では、地域の宝である文化財を守り伝え続けるために、観光客や研究者といった文化財に興味を持つ人と、地域住民、行政が連携して、文化財の保存と活用を両立した地域づくりに取り組むことを目指して、今後10年間の整備や活用の方針を示しています（下図参照）。

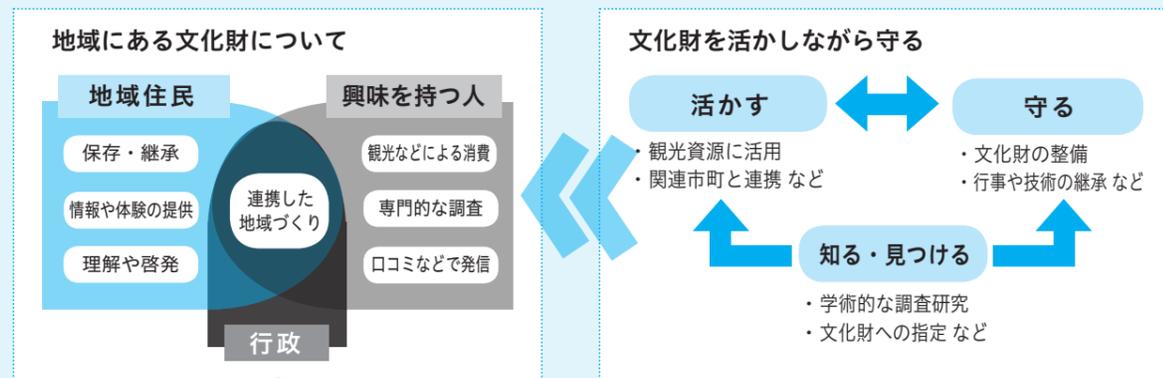


ふたつの日本遺産を 生かしたまちづくり

■問い合わせ 文化課 ☎64・6034

計画の概要（イメージ）

地域住民、文化財に興味を持つ人、行政が連携 ストーリーを活かして、活用と保存を両立



小浜の歴史文化をまとめた5つのストーリー

- 人と自然とのたゆまぬ共生**
 - 小浜湾が生む景観
 - 蒼島暖地性植物群落
 - 若狭蘇洞門 など
- 御食国若狭の成立**
 - 製塩遺跡群
 - へしこなれずなどの伝統食の製造技法 など
- 神仏習合の社寺と暮らし**
 - 多田ヶ岳一帯に広がる社寺群
 - お水送りなどの行事 など
- 京へつながる鯖街道**
 - 起点 小浜の湊町
 - 最古の鯖街道 針畑峠
 - 文化財の道 周山街道 など
- 海に開かれた小浜城下町**
 - 伝統的な町並み
 - 祭りや伝統産業
 - 城下町の歴史と文化 など

市では、日本遺産を生かしたまちづくりに取り組んでいるほか、官民が連携した取り組みや、住民主導の取り組みも盛んに行われており、こうした活動は全国からも注目を浴びています。今回は、2つの日本遺産を生かしたまちづくりの取り組みについて特集します。



北前船寄港地・船主集落追加認定を祝うセレモニー（平成30年5月24日・食文化館）

2つの「日本遺産」がある小浜

国では、平成27年、地域に残る文化財や伝統文化、背景にある歴史的経緯などを「物語」としてまとめ、その魅力を国内外に発信し観光交流や地域活性化に活用する制度「日本遺産 (Japan Heritage)」を開始しました。

本市は「海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群」御食国若狭と鯖街道が日本遺産第1号として認定され、30年には「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間」北前船寄港地・船主集落」にも追加認定。県内で唯一、ふたつの日本遺産をもつ地域となりました。

海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群 御食国若狭と鯖街道

ものがたり

本市を含む若狭地方は、古代より都へ塩や海産物を運ぶ「御食国」として栄え、都の食文化を支える物流の要となった街道は「鯖街道」と呼ばれました。



小浜で獲れた魚は一塩されたあと、一昼夜かけて京の都へと届けられた

また、若狭は大陸から日本列島へと続く「海の道」と、都へと至る「陸の道」鯖街道がつながる拠点でもありました。
人々の行き来により伝わった食や芸能、建物、工芸などの文化は、今なお私たちの生活の中に息づいています。

活用の取り組み

鯖街道の「はじまり」を生かす

「起点の地」をスタートラインに

市内では、鯖街道の「起点」いづみ町商店街（広峰）から「終点」京都出町商店街を目指して、街道の踏破を目指すマラソンやウォーキングイベントが行われています。中でも「鯖街道ウルトラマラソン」は、平成7年から続いており、日本遺産認定を契機に鯖街道の活用に関わる住民団体が結束して、全国から集まったランナーをもてなすイベントを実施しています。



市民団体主催の「鯖街道体験ウォーキング」でいづみ町商店街を出発する参加者（平成30年5月12日）

再び食材と食文化の発信地に

かつて小浜は、大量のサバが漁獲されて京都へと運ばれ、今や京料理の定番となった「鯖寿司」や、郷土料理の「へしこ」をはじめとする数多くの食文化を生んだ、食材と食文化の発信地でした。

市では、日本遺産認定を契機に、官民が連携して最先端の情報通信技術を用いたサバ養殖に取り組む「鯖、復活プロジェクト」を開始。このプロジェクトからは、京都の酒蔵から仕入れた酒かすを混ぜたえさで育てた「小浜よつばらいサバ」が誕生しました。
酒かすを与えることで生まれた独特の風味は、首都圏や京都の料理店などからも好評を博しており、小浜が再び食の発信地として注目をされています。

起点の地から鯖街道を発信！

「鯖街道ミュージアム」がオープンします！

いづみ町に「鯖街道ミュージアム」がオープンします。鯖街道のルートを表現したポケットパークや、飛び出すサバのトリックアートなど、誰もが楽しめる仕掛けがいっぱいの博物館です。

3月8日④の「鯖の日」に合わせ

て同館のオープニングイベントを行います。みなさんの来場をお待ちしています！

【イベント概要】

11時～記念式典、テープカット
11時38分～オープン、展示説明

※先着100人にクリアファイルをプレゼント



完成予想図。日本遺産のガイダンス施設の手前にポケットパークを配置

鯖街道の「道のり」を生かす

街道沿いで地域をあげたおもてなし

遠敷地区では、住民が中心となって、鯖街道を盛り上げるさまざまな取り組みを実施しています。

古民家を改修したまちづくり拠点施設「ふるさと茶屋 清右エ門」（池田）では、地区内を通る鯖街道の一部「丹後街道」の歴史や景観を生かしたまちづくりイベント「丹後街道にぎわいフェス」など、多種多様なイベントを開催。

また、近年ハイカーたちに人気の針畑峠登山道には、案内看板の設置や、休憩所「助太郎」（上根来）を整備するなど、地域をあげて鯖街道を生かしたまちづくりを進めています。



「丹後街道にぎわいフェス」では修験者が街道を案内（平成31年3月2日・若狭彦神社）

鯖街道の「つながり」を生かす

世界とつながる鯖街道

日本在住の外国人が、動画や写真で京都の伝統文化や名所を海外へ発信する「Discover Kyoto」。

世界中に小浜の魅力を伝えたい
新鮮な魚介や美しい海、仏像など重要な文化財を間近に拝観できる神社仏閣、にぎやかな放生祭、人の優しさとおもてなしに触れられる小浜が大好きです。私たちが感動したこのまちを日本の遺産として世界中に知ってもらいたいです。

編集部から本市へメッセージ



Discover Kyoto 編集部のメンバー

声

まちづくりに取り組む人たちの

県内外から訪れた大勢の人々の喜ぶ顔を見ると、「遠敷」という地域を持つ可能性を感じてうれしくなります。
地元の若者が、催しに参加したことをきっかけにその後の活動にも加わるなど、活動による好循環も生まれており、地域の連帯を生むことにもつながっています。

活動を通じて 地域が持つ可能性を感じた

私たちは、遠敷の歴史情緒あふれる景観の保存と活用のため、これまで清右エ門を拠点に、伝統行事に合わせた企画展示や、ウォーキングイベントの休憩所として参加者をもてなすなど、さまざまな催しを行ってきました。



遠敷丹後街道まちなみ保存推進会
芝田明和さん（66歳・池田・写真右）
赤崎弘明さん（50歳・池田・写真左）

鯖街道でつながるエリアが共同開催

「鯖街道の日プロジェクト」を実施します！

3月の第2日曜日は「鯖街道の日」！
小浜から京都市大原を経て、出町商店街へと至るまでの沿線エリア一帯が連携して、沿線各所の道の駅など6カ所で鯖街道の歴史を楽しむイベントを同時開催します。

小浜会場イベント概要

【とき】3月8日④9時30分～15時
【ところ】道の駅「若狭おばま」（和久里）
【内容】各地の特産品や鯖街道スーブの販売、サバにちなんだ各種イベントなど
【問い合わせ】道の駅「若狭おばま」☎56・3000

若狭高校生が開発したJAXA宇宙日本食認証のサバ缶も販売するよ！（数量限定）





OBAMA STORY LOOP

～港町若狭小浜日本遺産フェスティバル～

3月7日④・8日④と、14日④・15日④の2週にわたって、「日本遺産」をテーマに市内の各所をつないださまざまな体験や名物を提供するイベントを開催します！

今回、インタビューに応じてくれたみなさんをはじめ、日ごろ、日本遺産を生かしたまちづくり活動に取り組む各種団体が、力を合わせて2つの日本遺産の魅力をPRします。

3.7(sat) 3.8(sun) 鯖街道ウィーク



7日④ 8時～12時

海の駅にぎわい朝市

川崎エリアで、青果の競り見学や七輪焼き、アンコウ汁などを楽しみましょう

7日④ 18時～20時

旭座前夜祭

「未来へ・宇宙へつながる鯖街道」
「へしこ博士」小坂教諭（若狭高校）の講演会と、鯖街道の未来を語るタウンミーティング

8日④ 10時～15時

遠敷丹後街道 まちなみ賑わいフェス

鯖街道のまち遠敷の幸がいっぱい！雪室で貯蔵した日本酒やしし鍋を楽しみましょう

8日④ 13時～14時30分

港町まちあるき探検

～古地図を手に小浜湊を歩く～
古地図を片手に、我が国最大級の港町だった小浜を歩きます。先着20人。

8日④ 11時～12時

鯖街道ミュージアム オープニングイベント

鯖街道の魅力を発信する拠点が、起点のいづみ町にオープン。詳しくはP4

8日④ 14時～16時 申

旭座上方落語会

桂 塩鯛、林家小染ほかの名人芸をお楽しみに。まちの駅旭座 ☎52・1000 まで要事前申込

6日④～7日④

小浜から都へ！ 鯖運び復活プロジェクト

有志でつくる「鯖街道ランナーズ」が、往時と同じ一昼夜で京都まで小浜よっぱらいサバを運びます

3.14(sat) 3.15(sun) 北前船ウィーク

14日④ 10時～16時 申

北前船に出会う ローカルラーニングツアー

カメラを通じて北前船のゆかりの地や街並みなどの歴史文化に触れるツアー

14日④ 10時～12時 申

若狭瓦ワークショップ

若狭から北前船で運ばれた主要産品「若狭瓦」の置物作りを体験します

15日④ 14時～

KITAMAE 浪漫

護松園を舞台に、全国の寄港地を巡るチェンバロ奏者、明菜みゆきさんのコンサートを行います

15日④ 10時～15時

旭座！北前船大集合

県内外の寄港地6市町が名物販売などのブースを出展します

14日④ 10時～16時
15日④ 11時～12時

みなと KURA cafe&gallery

北前船の歴史を感じる津島倉庫で、カフェと若狭瓦などの展示会を開きます

ほかにも、両日ともさまざまなイベントが！

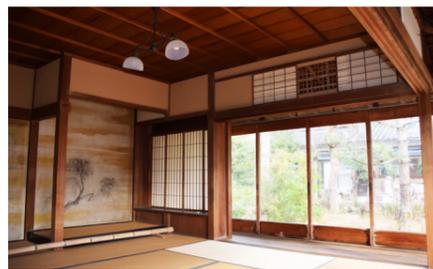
護松園の特別公開、食文化館の企画展示「北前すごろく」、各会場をめぐるスタンプラリーなどを実施します

※ 申は事前申込が必要。詳しくは文化課まで問い合わせてください（旭座上方落語会については、まちの駅）

荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間 北前船寄港地・船主集落

ものがたり

日本海や瀬戸内海沿岸には、積み荷で商いをして巨万の富を築き、「動く総合商社」といわれる「北前船」の寄港地や船主集落となった港町が点在しています。これらの港町には、荷とともに各地の人や文化も運び込まれたことで、遠方にも関わらず、まちのつくりや祭礼・芸能などに多数の共通点が見られ、独自の魅力があります。



北前船の廻船問屋、古河屋の邸宅「護松園」。建物や庭園が県文化財に指定されている

活用の取り組み

北前船がもたらした技術を生かす

贅と技術の粋を極めた邸宅跡

北塩屋区には、北前船の船主で、日本有数の廻船問屋でもあった古河屋の邸宅「護松園」（旧古河屋別邸）の一部が残されています。特別公開の際には、贅を尽くしてしつらえたふすま絵や、高度な建築設計のもとで柱を少なくし、庭を広く見渡せる縁側などを見ることが出来ます。

現代に伝わる帆船の技術

北前船の寄港地では、荷として運ばれる生産物の産業が発展すると同時に、造船や修理の技術も大いに発展しました。

本市でも造船業が栄え、市内神社に残る北前船の模型「船玉」や明治時代の船団の写真など貴重な資料の数々は、全国で木造船の研究や復元に活用されています。

往年の主要産業を後世に伝える

かつて、市の主要産業として隆盛を誇り、北前船で全国各地へと出荷された若狭瓦。市内はもちろん、北海道小樽市などでも、昭和初期ごろまでに建てられた建物の屋根瓦に利用されています。

口名田地区には、この若狭瓦を生産した「だるま窯」が今も残っており、地元有志が窯の保存や、瓦の産地であったことを伝承することに力を注いでいます。



復元された「だるま窯」。形状が達磨大師が座禅を組んだ姿に似ていることから名付けられたといわれる

声

まちづくりに取り組む人たちの



桑田テント株式会社 桑田 博敏 代表取締役 (51歳・清滝)

小浜の歴史や技術を後世へ

当社は、小浜にも寄港した北前船の復元船「みちのく丸」など古い帆船の復元や、全国の寄港地や大学が連携した学術研究に携わっています。古くから日本海側最大の港として栄えた小浜が持つ歴史の魅力や優れた技術を掘り起こし、後世へ伝えていきたいですね。

貴重な遺構に触れられる環境を

国内で15基ほどしか残っていないとされるだるま窯のうち、2基が口名田地区にあり、本会が平成26年に1基を復元してからは、全国の研究者が視察に訪れています。

ゆくゆくはもう1基の復元や周辺整備を行い、誰もが貴重な遺構に触れる環境をつくりたいと思っています。



若狭だるま窯を守る会 藤本 重博 代表 (71歳・谷田部)



市内全小中学校でジビエ給食を実施

嶺南地域で捕獲されたシカを活用したジビエ給食を児童らが堪能（西津小学校・1月21日）

火災や災害対策に活用を

ライオンスクラブ
L C 国際協会 334-D 地区が若狭消防組合にドローン2台を贈呈（若狭消防組合消防本部・2月4日）



今年も豊年・豊作間違いなし

地中に埋めたクリなどの木の実で1年の作柄を占う「オイケモノ神事」が執り行われる（加茂神社・2月9日）



感動できる小浜づくりを考えよう

北陸新幹線を生かしたまちづくりを考える「新幹線講座」に約110人が参加（中央公民館・2月8日）



カキの養殖学び環境保全の意識高める

県海浜自然センター（若狭町）の体験講座で参加者が若狭カキの養殖見学やカキむきに挑戦（仏谷・2月8日）



竜に見立てた綱で区内安全の願い込める

「二十日講」で竜に見立てた勧請綱を集落の入り口に張り区内安全と五穀豊穡を祈願（荒木・1月20日）



幻の特産品の復活を目指す

市内NPO法人らが復活を目指す「若狭桐油」を初めて使用。放生祭の山車を修繕（鹿島・1月22日）



サバ入りの中華まんて小浜をPR

ふるさと小浜 MIRAI 事業の発表会で5年生が考えた地域活性化策を市長に提案（今富小学校・2月2日）



家に来た「鬼」を払って福を呼び込む

節分の日に鬼にふんした宮川青年クラブのメンバーが同地区の子育て世帯を訪問（加茂・2月3日）

地域の宝を一丸となって守る

1月26日の「文化財防火デー」を前に地域住民らが永源寺で文化財防火訓練に取り組む（田島・1月25日）



自らの記録に挑戦

市スポーツ少年団の合同体カテストで小学生139人が立ち幅跳びなど5種目に挑戦（市民体育館・1月25日）



お水送りの準備も佳境

小浜美郷小学校 PTA 役員 11人が児童の講習会を前にたいまつ作りを学ぶ（神宮寺・2月2日）



暮らしの情報

小浜市役所
〒917-8585 小浜市大手町 6-3
☎0770-53-1111(代)
FAX 0770-53-0742(代)
HP <https://www1.city.obama.fukui.jp/>

お知らせ

職場での悩みごと無料相談会

解雇・賃金など、労使関係の悩みや不安なことについて、労働問題の専門家が相談に応じます。

▼とき 3月22日①

13時30分～16時30分

▼ところ 敦賀市生涯学習センター

(敦賀市)

▼問い合わせ 県労働委員会事務局

☎0776・20・0597

※秘密厳守、申込不要

小浜・子どもの悩み110番

教育総務課

小学生から高校生、その家族や教師の皆さん、日ごろの思いや悩みを電話や面接で相談してみませんか。弁護士や医師が相談に応じます。

▼とき 3月8日①10時～20時

軽自動車の廃車について

税務課 ☎64・60004

軽自動車税は毎年4月1日現在の軽自動車(原動機付自転車を含む)の所有者に対して課税されます。廃車などの際には、基準日前に販売などに引き渡した場合でも、軽自動車税(種別割)申告書に記載された年月日で判定されます。廃車処理の進捗状況については販売店などに確認するようにしましょう。



まちの駅「旭座」イベント情報

※3月予定の主なものをお知らせします

琴城流大正琴「ハーモニーあすわ」

35周年記念コンサート

▼とき 3月28日①13時30分～

▼出演 琴鈴会(小浜市)、音和会、ふきのとう、たんぽぽ、La.セーニョ(いずれも福井市)など

▼料金 無料
①文化会館 ☎53・9700

▼ところ チャンネルO(津島)
▼相談専用番号 52・7231、52・7232(当日のみの臨時電話)
※相談無料、秘密厳守
※詳しくは、グループ「ボケットに夢いっぱい」代表の柴田(しばた)さん ☎090・2033・3904

「お水送り」交通規制・バス運行

商工観光課 ☎64・60221

【交通規制】

▼とき 3月2日①19時～21時30分
予定(松明行列の時間帯)

▼区間 神宮寺交差点～鶴の瀬橋

【シャトルバス運行】

①小浜駅前発・神宮寺行

17時45分(満車になり次第出発)

▼料金 片道800円

②電前臨時駐車場発・神宮寺行

17時～18時50分(随時運行)

▼料金 片道200円

※帰りの便は神事終了後に鶴の瀬パークから出発します。詳しくは問い合わせください

交通災害共済加入受付中

生活安全課 ☎64・60007

交通災害共済は、交通事故で被害に遭ったとき、傷害の程度により見舞金が支払われる制度です。

▼共済期間 4月1日～令和3年3月31日※4月1日以降に申し込み

イベント

つきいち「バラエティー」

文化会館 ☎53・9700

▼とき 3月3日①～6日②(6日は15時まで)

▼ところ 庁舎市民ホール(大手町)

▼内容 小浜市華道連合会のいけばな展「風ひかる 花ひかる」

▼料金 無料

ハワイエコンサート

文化会館 ☎53・9700

▼とき 3月8日①13時30分～

▼ところ 文化会館(大手町)

▼内容 ミュージックフレンズと若狭ギターアンサンブルによるコンサート

▼料金 無料

健康・福祉

経済的に就学困難な児童・生徒に対する支援

教育総務課 ☎64・60332

市では、経済的理由により就学が困難な児童・生徒に対して支援を行ってまいります。

▼対象項目 新入学用品費、学用品費、通学用品費、修学旅行費、校外活動費、給食費、学校病医療費
※対象者は、同一生計家族の収入額

をした場合は、その翌日から令和3年3月31日まで
▼共済掛金 1人500円
▼資格 市に住民登録をしている人
▼加入方法 共済掛金と申込書を生活安全課または福井銀行県内各支店の窓口へ提出

乾燥肥料の無料配布

衛生管理課 ☎52・15222

し尿を処理した後にできる「乾燥肥料」を無料で配布します。

▼とき 3月9日①～19日②いずれも9時～16時※土・日を除く

▼ところ 衛生管理所(荒木)
※申込不要

※開封後は早めに散布し、必ず覆土してください。野外保管の際は必ずシートなどで覆ってください

古着・廃小型家電の回収

環境衛生課 ☎64・6016

市では、燃やすごみの減量化、リサイクルの推進を図るため、無料で古着・廃小型家電を回収します。

▼とき 3月14日①9時～12時

▼ところ クリーンセンター(谷田部)

▼対象 【古着】洗濯された衣類全般(下着、靴下、毛布、ふとん、タオルなどは対象外)
【廃小型家電】回収ボックス投入口(15センチ×25センチ)に入る大きさ

によって認定するため、申請しても該当しない場合があります

ひとり親家庭の皆さんへ

子ども未来課 ☎64・6013

市母子寡婦福祉連合会では、入学・卒業・進級のお祝い会を「わかさわん親子自然教室」と兼ねて開催します。

▼とき 3月15日①10時～

▼ところ 国立若狭湾青少年自然の家(田島)※送迎バスあり

▼対象 本年小学校へ入学、または中学校を卒業、もしくは各学年に進級する児童・生徒とその保護者

▼定員 市内のひとり親家庭の親子先着20人

▼料金 無料

▼申込期限 3月9日①

▼申し込み 同連合会長の小角(こずみ)さん ☎52・6651または子ども未来課 ☎52・6651または子ども未来課

国民健康保険加入者の個別特定健診

健康管理センター ☎52・22222

本年度まだ特定健診を受診していない40歳～74歳の国民健康保険加入者は、県内の指定医療機関で個別に受診することができます。

▼申し込み 県内指定医療機関(詳しくは健康管理センター)

▼受診期限 3月31日①
※受診時に、受診券と健康保険証を持参してください

の携帯電話、デジタルカメラ、ゲーム機器、携帯音楽プレーヤー、卓卓など(電池、電動工具、パソコン、CDなどの記憶媒体、テレビなどの家電リサイクル法の対象品目は対象外)
※雨天決行。古着は雨にぬれないように持ち込んでください。対象以外のごみは受け付けできません

おばま児童文学会「風夢」のおはなし会

とき 3月28日①11時～

5階児童室にて、おひなさまを展示中です。ぜひ、見に来てねー!

しりつとしゃかんおはなしかい

とき 3月14日①

①10時30分～

②11時～

内容 ①0～2歳向け

②3歳以上向け



■問い合わせ 市立図書館(白鬚) ☎52・1042

市立図書館 今月のイベント

※受診券を紛失した人には再発行行しますので、問い合わせください

子ども予防接種週間

健康管理センター ☎52・22222

3月1日①～7日②は「子ども予防接種週間」です。未接種の予防接種がある場合、この期間を利用して接種しましょう。

※協力医療機関など、詳しくは県のホームページ(<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kenkou/kodomo-yobousessyuh.html>)を参照

集いの場づくりモデル支援事業参加団体募集

地域包括支援センター ☎64・6015

市では、介護予防推進のため、地域で「いきいき百歳体操」に取り組む団体に、必要な備品を購入するための費用を助成します。

▼対象 年間12回以上、高齢者などが集う場を自主的に開催し、いきいき百歳体操を実施する団体
※65歳以上の参加者が5人以上含まれること

▼助成内容 体操を実施するために必要な備品(DVDプレーヤー、テレビ、イスなど)の購入費用(上限3万円、1回のみ)
※初めの4回は、体操の指導と必要物品の貸し出しあり



咲楽館(働く婦人の家)

令和2年度年間講座受講生募集!

■問い合わせ 働く婦人の家 ☎ 52・7002



受講料 14,000円(年間20回分。講座により教材費などは別途必要)

申込期限 3月31日☎(申込人数によっては開講できない場合あり)

時間帯	講座名	実施日	内容
午前の部 10時～12時	やさしいオカリナ	第1・3水曜	初心者でも手軽に楽しめるオカリナで、素朴な音色を奏でましょう
	パッチワーク	第2・4土曜	基本から学び、さまざまなパッチワークを作ります
午後の部 13時30分～15時30分	水彩画	第1・3火曜	水彩画の楽しさ、描画の基本を学びます
	ファイアンキルト	第2・4土曜	アップリケが中心のキルティングを学びます
	着物着付け		着付けの基礎を学びます(※15時～17時)
夜の部 19時30分～21時30分	楽しいコーラス	第1・3水曜	歌いたい曲がどんどん歌えるように。みんなと一緒に歌いましょう
	やさしいヨガ		無理のない動きと呼吸法で心と体を整えます
	茶道	第2・4金曜	茶道を通じて日本の伝統文化を学びます

農地・農業を未来につなぐ

農業委員・農地利用最適化推進委員を募集します

■問い合わせ

農林水産課 ☎ 64・6022

	農業委員	農地利用最適化推進委員(推進委員)
主な職務内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 将来の農業を見据えた集落・地域での話し合いの調整 ■ 農地などの利用の最適化*を推進 ■ 農地利用最適化推進協議会にて他の委員との活動内容や情報の共有 ■ 毎月開催の農業委員会に出席し、農地の権利移動、転用などについて審議 ■ 研修会への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 将来の農業を見据えた集落・地域での話し合いの調整 ■ 各担当地域における農地などの利用の最適化*を推進 ■ 農地利用最適化推進協議会にて他の委員との活動内容や情報の共有 ■ 研修会への参加
任期	令和2年7月20日～5年7月19日	
募集人数	10人	15人(担当の地区あり)
報酬	基本給 月額15,000円(会長、副会長は別途規定) (農地集積や耕作放棄地解消などの成果により、追加報酬の可能性あり)	

*農地などの利用の最適化…①農業の担い手への耕作農地の集積・集約化、②耕作放棄地の発生防止・解消、③新規就農の促進

募集期間 3月10日☎～4月10日☎

応募方法 所定の用紙(農林水産課または各公民館に設置。市公式ホームページでもダウンロード可)を同課まで提出

※農業委員と推進委員は、どちらにも推薦・応募はできません

※年齢・性別は問いません。青年や女性も積極的に応募してください

農業委員、推進委員の制度や推薦・募集についての説明会を開催します。興味がある人は気軽に参加してください。

とき 3月6日☎ 19時～

ところ 庁舎4階大会議室(大手町)

募集

第8回成人大学講座

生涯学習スポーツ課 ☎ 64・6033

▼とき 3月18日☎ 14時～15時30分

▼ところ 中央公民館(大手町)

▼内容 おもてなしの心く外国人に伝わる地域の魅力紹介方法

▼講師 生島あゆみさん(全国通訳案内士)

▼料金 無料

▼季節の調理体験(3月編)

御食国若狭おばま食文化館 ☎ 53・1000

▼とき 3月19日☎、20日☎
いずれも10時～13時

▼ところ 食文化館(川崎三丁目)

▼テーマ 春の発酵・葉膳

▼内容 土佐酢ピクルス、穴子とゴボウの和風グラタン、タコめし、梅麴で作る谷田部ネギのぬた、へしこの香味サラダ

▼定員 各先着30人

▼料金 1000円

▼申込期限 実施日の3日前

▼Wakasan Sportsフェスタ(フットサルを楽しむ)

国立若狭湾青少年自然の家 ☎ 54・3100

▼とき 3月14日☎、15日☎一泊二日

▼ところ 国立若狭湾青少年自然の家(田島)

▼対象 どなたでも参加可能

▼参加費 2700円(宿泊代、食事代、懇親会代) ※宿泊や食事をしない人はそれぞれの経費がかかります。小学生以下の食費は30円減額

▼申込期限 3月6日☎

※申込方法など詳しくは問い合わせてください

はらペコキャンプ

国立若狭湾青少年自然の家 ☎ 54・3100

国立若狭湾青少年自然の家では、「自然の中で暮らす」を目的にしたキャンプを開催します。思い出作りに友達同士で参加してみませんか。

▼とき 3月28日☎、30日☎二泊三日

▼ところ 国立若狭湾青少年自然の家(田島)

▼内容 テントやかまど、足湯づくりや夜間の森の探検など

▼対象 小学3～5年生

▼定員 先着30人

▼参加費 3800円

▼申込期限 3月14日☎13時

▼申し込み 国立若狭湾青少年自然の家公式ホームページから

※一泊だけやグループでの参加も可能です。詳しくは問い合わせください

毎日の通勤・通学に

JR小浜線を利用しましょう

■問い合わせ 北陸新幹線・総合交通推進課 ☎ 64・6067

市では、JR小浜線を利用する人に対してさまざまな助成を実施しています。また、3月14日のダイヤ改正では、朝の通勤・通学時間帯の列車が増便されるなど利便性が向上します。

助成制度を活用して、JR小浜線を利用しましょう。

※改正時刻について、詳しくはJR時刻表を参照してください

◆JR小浜線利用助成の一部

対象者	助成額	限度額
定期券または往復乗車券の購入者(住所要件なし)	市営駅前駐車場の無料提供(小浜駅)	往復乗車券購入者は16H/台
市内に居住する高校生などを養育する保護者	JR小浜線通学定期購入額の15% ※ひとり親家庭などの場合は購入額の80%	なし

詳しくは、担当課まで問い合わせください

宝くじの助成金で整備しました

■問い合わせ 市民協働課 ☎ 64・6009

宝くじ普及広報事業として、(一財)自治総合センターからの助成で、下根来区が「お水送り行事」のための備品などを整備しました。

▶整備備品 かがり火籠(大・中・小)各10台、のぼり旗80本、ポール10本、はんでん50着、チェーンソー8台、刈払機1台





勤務先 小浜市社会福祉協議会
 いわさき ゆき
岩崎 有紀 さん
 (25歳・丸山)

笑顔や感謝の言葉が原動力に

小浜市社会福祉協議会でデイサービス利用者の介護に努める岩崎さん。3世代同居の家庭に育ち、高齢者との関わりが好きだったことから、同施設での介護ボランティア経験を経て就職。この冬、4年目を迎えました。「入職当初はコミュニケーション能力など自身の力不足を痛感した」という岩崎さん。一方で、「仕事をつらうと感じたことはなく、皆さんの笑顔や『ありがとう』の言葉が原動力になっています。もっと頑張ろうという気持ち湧いてくる」と笑顔をみせます。

人と人が関わる介護の現場。大切にしているのは、相手の気持ちを一番に考えること。「人は誰も性格や背景が異なります。普段からコミュニケーションを密にして、その人に寄り添ったケアを心掛けています」休日にはヨガで気持ちを集中させ、心身のリフレッシュを図っているという岩崎さん。目標を尋ねると、「押し付けるのではなく、できないことをフォローするなど、各人に合わせた支援・行動ができるスタッフになりたいです」と話してくれました。



男子卓球部 キャプテン
 くぼ こうた
久保 浩太 くん
 (小浜第二中学校 2年生)

仲間とともに勝利をつかむ

2年生7人、1年生10人が所属する小浜第二中学校の男子卓球部でキャプテンを務める久保くん。卓球に打ち込んでいた兄の姿に憧れて、中学校入学を機に競技を始めました。上級生が引退し、キャプテンを任せられた際には、「やるからには全力で務めよう」と決意。「壁にぶつかってもありました、先生や仲間たちの支えもあり、乗り越えることができました」と感謝の思いを口にします。ブレイクスタイルは、温厚な性格とは対照的にサーブを得意とする攻撃

型。「仕掛けた攻撃が成功するなど、思惑通りのプレーができる」と気持ちがいいです。足の動きをスムーズにすることが今後の課題」と語ります。「部では、みんなで声を出して盛り上げるなど、いい雰囲気です。春季の大会に向けて気持ちが上がっている」と自信をのぞかせる久保くん。目標は、「地区大会の団体の部で優勝を果たし、全員で県大会に出場すること。チームが持つ、ここ一番での強さを武器に勝利をつかみ取りたい」と力強く話してくれました。



Kitocafe 小浜店 店主
 せま のぶこ
勢間 暢子 さん
 (41歳・千種2丁目)

ほっと一息つける空間を提供したい

津島名水で入れたコーヒートの香りが漂い、ゆったりとした空気が流れる店内。勢間さんは平成29年、長女の小学校入学を機に夫の地元である小浜へ移住し、昨年7月にKitocafe小浜店(清滝)を開業しました。「落ち着いた空間でおいしいお茶やお菓子を楽しみ、ほっと一息ついて気持ちのリセット。私にとってはとても大切な時間です」という勢間さん。「お客さんにもそうした時間を過ごす場を提供したいと思い、お店を開きました」同店の名前は、勢間さんが移住前に

京都市で友人と共同経営していたカフェと同じ。勢間さんはその理由を、「京都のお店は、鯖街道の終点、出町商店街のそばで友人が今も営業中。鯖街道つながりで互いの店を知ってもらうきっかけになれば」と話します。「移住者の私にも気さくに声をかけてくれる、温かい人柄が小浜の魅力」という勢間さん。「3月に開かれる日本遺産フェスティバル(P7参照)ではカフェを出店します。この機会にぜひ遊びに来て、気軽に声をかけてください」と笑顔で話してくれました。



レスリング部 キャプテン
 たなか りょうが
田中 陵雅 くん
 (若狭高校 2年生)

ライバルたちに負けない選手に

若狭高校レスリング部キャプテンの田中くんは、小学1年生のときに入会したレスリングクラブで競技に出会い、その奥深さに魅了されました。「試合では、相手と組み合った際に、わずかな重心移動から次の攻撃を予測したり、フエイントをかけて体勢を崩させたりといった読み合いがある。自分の狙い通りの試合運びで勝てたときが一番うれしい」

な環境でも、マネージャーや顧問の先生、練習を手伝ってくれるOBの3年生らの支えで鍛錬を続け、11月に行われた県新人戦の60kg級フリースタイルでは、見事2位に入賞しました。「同年代には、クラブ時代から全く敵わない選手や、すでに北信越などの上位大会でも結果を残している選手など、強い相手がたくさんいる」と、好成績にも満足せず気を引き締める田中くん。「彼らに勝てるようになりたい」と、ライバルたちへの闘志を胸に、今日も練習に励んでいます。

子育て情報

※印のついた相談などは要予約です。相談は基本的に無料です。内容は変更される場合があります

催し	とき	内容	ところ・問い合わせ
ベビーキッチン※	6日(金) 10時～11時	親子でクッキングを楽しみましょう。	食文化館 ☎子育て支援センター☎56・3386
誕生会※	4日(水) 10時～11時	今月に誕生日を迎えるお友達のお祝いを楽しみましょう。	
親子運動遊び※	13日(金) 10時～11時	お子さんと一緒に体を動かして遊びます。親子でのふれあいを楽しみましょう。	子育て支援センター ☎同☎56・3386
おわかれ会※	18日(水) 10時～11時	4月に保育園などに入園するお友達のお祝いを楽しみましょう。	
子育てワイワイ広場	9日(月)、23日(月) 9時30分～12時	未入園児の親子に2階和室を開放しています。交流の場としてどうぞ。	
母乳育児相談	9日(月)、23日(月) 10時～11時30分	助産師による母乳育児の相談です。体重・哺乳量の測定も可能です。	健康管理センター ☎同☎52・2222
スクスク元気っ子教室	17日(水) 受付：10時～10時30分	離乳食の試食や相談、発育・発達、育児など子育て相談。身体計測も可能です。	

体や心・生活の相談

※印のついた相談などは要予約です。相談は基本的に無料です。内容は変更される場合があります

相談名	とき	内容	ところ・問い合わせ
精神保健相談※	3日(水)、17日(水) 9時30分～11時30分	心の病気や、アルコール問題、認知症に関する相談に精神科医が応じます。	若狭健康福祉センター ☎同☎52・1300
エイズ・肝炎相談、検査	2日(月)、16日(月) 9時～10時30分	匿名で、エイズ・肝炎に関する検査や相談(月～金)を受けることができます。	
こころの相談※	①毎週(水)10時～16時 ②毎週(金)12時～17時	心の悩みを相談してください。	①市社会福祉協議会☎同☎56・5802 ②つみきハウス☎同☎53・1190
心配ごと相談	11日(水) 13時～16時	介護など生活での困りごとの相談に応じます。	市社会福祉協議会 ☎同☎56・5802
人権相談	17日(水) 13時～15時	悩みごと、心配ごとのある人は、気軽に相談してください。	働く婦人の家 ☎福井地方法務局小浜支局☎52・0238
カフェ・ぽ〜れ	12日(水) 13時30分～15時	認知症予防の活動や相談ができます。※参加費100円	若狭ふれあいセンター ☎坂上和代さん☎090・5686・4147
おひさまカフェ	17日(水) 10時～12時	認知症予防に関わる人たちの憩いの場です。※参加費100円	ふるさと茶屋「清右エ門」 ☎Fフォーラム武藤さん☎090・2039・9705

窓口の延長について

市役所1階の窓口(市民福祉課、高齢・障がい者元気支援課、子ども未来課、税務課、環境衛生課、会計課)では、毎週金曜日(祝日・年末年始を除く)の執務時間を18時30分まで延長しています。

※市民福祉課では、マイナンバーカードに関する手続き・問い合わせについて、月・火・木曜日(祝日を除く)の窓口を18時30分まで延長しています

ゴミ分別・収集日通知無料アプリ

ごみサポ!

完全無料
分別検索 アラーム通知

スマホ全対応

自治体・学校教育機関向けアプリ・ダウンロード
福井システムズ株式会社
若狭営業所
小浜市小浜清道102 TEL: 52-6360
URL: http://www.fukui-systems.co.jp/

休館日

市立図書館	3日(水)・10日(水)・15日(日)・17日(火)・24日(火)・25日(水)・31日(火)
温水プール	2日(月)・9日(月)・16日(月)・23日(月)・30日(月) ※3月1日(日)から通常営業再開予定
若狭図書学習センター	2日(月)・9日(月)・16日(月)・23日(月)・30日(月) ※26日(水)は2Fのみ休館
市民サービスコーナー	15日(日)・20日(金)祝 ※22日(水)は機器のメンテナンスなどのため、マイナンバーカードの交付や継続などの手続きはできません

休日当番医

1日(日)	★小津外科医院(日吉) ☎52・0072
8日(日)	★田中整形外科医院(千種一丁目) ☎52・6868
15日(日)	★しんたにクリニック(駅前町) ☎64・5321
20日(金)祝	★山手医院(山手一丁目) ☎53・5511
22日(日)	中山クリニック(多田) ☎56・5588
29日(日)	★田中病院(遠敷十丁目) ☎56・5353

※★印の当番医の日は、小児患者は、杉田玄白記念公立小浜病院(大手町)で小児科医が休日診療を行います

法律や行政・その他の相談

※印のついた相談などは要予約です。相談は基本的に無料です。内容は変更される場合があります

相談名	開催日	時間	ところ	問い合わせ
弁護士無料相談※	3日(水)	13時30分～15時	働く婦人の家	福井弁護士会☎0776・23・5255
出張年金相談※	12日(水)、26日(水)	10時～12時、13時～15時	文化会館4階	敦賀年金事務所☎0770・23・9905
行政相談	17日(水)	13時30分～14時30分	市役所1階 101会議室	市民協働課☎64・6009
高齢者専門相談(法律)※	19日(水)	13時～16時	県社会福祉協議会嶺南支所	同☎52・7833
結婚相談	19日(水)	9時30分～11時30分	文化会館4階	子ども未来課☎64・6013
結婚相談(本人のみ)	28日(土)	13時30分～15時30分		
法律相談(消費生活トラブル)※	26日(水)	14時～16時	嶺南消費生活センター	同☎52・7830
赤い羽根相談会(法・税・登記など)※	29日(日)	13時～16時	サン・サンホーム小浜	わかさリーガルパートナーズ☎56・5533(平日9時～17時)

au お得な情報をおとどけ!

facebook 「エーショップ小浜」で検索

twitter @aushopobama

au ショップ小浜
☎0800-7002298

4月迄の最大学割!
ツーシーズンプラン!

春休みに教習開始!
残りの教習は
夏休みに短期間取得!

地域にお住いの学生様を応援します!

小浜自動車学校
☎0120-52-0839

3/20(金)～4/5(日)

桜かすみ風呂

桜色の濁り湯とやさしい香り
心ゆったり、お花見気分
濱の湯だけの特別な時間をどうぞ...

小浜市川崎3-4 御食園若狭おばま
食文化館内
TEL0770-53-4126
お食事だけの利用もできます!

瓦雨どいシャッターなど

▼建物修繕のご相談は▼

JA若狭 生活部 生活課
☎56-5024

安全と快適を生む環境づくり。
ビル総合管理・警備保障システム

AIVIX
株式会社アイビックス

若狭支店 / 917-0241 小浜市遠敷7丁目112
TEL:0770-56-0266 FAX:0770-56-0268

安心と信頼 地元の石屋さん

お墓ディレクター(1級)在籍
(日本石材産業協会登録第12-100024号)

(有)杉田石材店

第2・第4土曜と毎週日曜、祝祭日は休業しています。
お電話での相談も承ります。
小浜市小浜広峰55
☎(0770)52-0748・FAX(0770)52-0853

御食国 若狭おばまの 食材めぐり

■問い合わせ 農林水産課 ☎ 64・6024

第6回

若狭カキ

ミネラルをはじめ、さまざまな栄養素を豊富に含むことから、別名「海のミルク」とも呼ばれるカキ。今回の食材めぐりは、若狭湾で養殖され、栄養とうまみをたっぷり含んだ「若狭カキ」です。

夏と冬の水温差が大きい若狭湾の環境は、カキの生育に適しており、湾内でも特に波が穏やかな仏谷区・甲ヶ崎区を中心に養殖されています。

湾の背後にそびえる山々から海へと注ぐ栄養豊富な水や海底からの湧き水が、若狭カキをおいしく育てます。

旬を迎える冬には、プリプリした食感の大きな身に育った若狭カキが県内外の店頭に並び、鍋もの、カキフライ、焼きガキ、蒸しがキなど幅広い料理で楽しまれています。



【写真】(上) 若狭カキの炭火焼き (左) 出荷に向けて殻に付着した他の貝を取り除いた若狭カキ

【生産者の思い】

ひとつひとつに愛情を込めて育てた若狭カキ。味はくせがなくおいしいと評判で、贈り物や家庭用にと、毎年購入されるお客さんも多くいらっしゃいます。市内の民宿や料理店などでもさまざまな料理を楽しめますので、ぜひ一度足を運んでみて下さい。

骨粗しょう症は高齢女性の疾患とみられがちですが、男性でも、特に糖尿病や慢性腎不全を患っている人は骨折のリスクが高いといわれています。検査や予防などについて、

骨粗しょう症は高齢女性の疾患とみられがちですが、男性でも、特に糖尿病や慢性腎不全を患っている人は骨折のリスクが高いといわれています。検査や予防などについて、

健康 生活のつむぎ

「いつのまにか骨折」にならないために

骨粗しょう症はありふれた疾患？

骨粗しょう症とは、骨の強度が低下して、骨折しやすくなる病気のことで、国内の患者は約1300万人と推計され、自覚症状がないことから、治療を受けている人は200万人に満たないとされています。

骨粗しょう症に伴う背骨(椎体)の骨折発生率は50代から徐々に増加し、脚の付け根(大腿骨近位部)の骨折に関しては70歳を境に急激に増加する傾向があります。これらの骨折に伴い身体能力が低下することが多く、介護が必要となる主な原因のひとつとされています。さらに、骨粗しょう症による骨折を経験すると、再度骨折するリスクが高くなり、背骨や脚の付け根を骨折した人は死亡リスクも高くなります。

骨粗しょう症は高齢女性の疾患とみられがちですが、男性でも、特に糖尿病や慢性腎不全を患っている人は骨折のリスクが高いといわれています。検査や予防などについて、



整形外科
北出誠 医師

杉田玄白記念 公立小浜病院
■問い合わせ ☎ 52・0990

かかりつけ医に一度相談することをおすすめします。

骨粗しょう症の対策と予防

対策と予防には、習慣的な運動と食事に関する注意することが重要です。運動は週2〜3回、20分程度の散歩がよいとされています。また、1日10分程度の日光浴も有効で、体内でビタミンDが活性化され骨が強化されます。食事はカルシウムの多い煮干しや牛乳などとともに、ビタミンDの豊富なシイタケや、うなぎを食べることもおすすめです。

薬物治療について

すでに転倒などにより骨折をしている人や骨密度が低い場合は薬物治療が必要になることもあります。定期的に内服が必要となりますが、最近では月1回、半年に1回などの注射製剤や、内服薬も錠剤やゼリーなどさまざまです。各人に合わせた治療が可能です。

知ってほしい、役に立つ事業をキリトリ！

市役所 お仕事ファイル

【予約受付電話番号】

- 泊線・田島線 三福タクシー ☎ 52・1414
- 小屋線・池河内線 大和交通 ☎ 56・3333

ただし、「午前9時までの便」または「5人以上での利用」の場合は、前日の午後5時までに予約をする必要があります。

日曜日の利用は予約が必要

日曜日に利用する場合は、利用時刻の1時間前までに予約が必要です(運行時間は土・祝日と同じ)。

平成14年4月から西日本JRバス路線を引き継ぎ、市内を走るコミュニティバスです。毎日運行5路線、隔日運行6路線を運行しています。運賃は区間に応じて100円〜300円。時刻表は市庁舎3階の北陸新幹線・総合交通推進課窓口などで配布しており、市公式ホームページにも掲載しています。

便利で身近な公共交通 「あいあいバス」

■問い合わせ 北陸新幹線・総合交通推進課 ☎ 64・6067

あいあいバスって？

4月1日から 「バスターミナル」を供用開始

道の駅「若狭おばま(和久里)」に整備してきたバスターミナルを4月1日から供用開始します。

施設には、4カ所のバス停留所と7台利用できる駐車場を整備。バス停の位置も現在地から移動することで、利用者の安全性、利便性が向上します。バスターミナルに発着するあいあいバスの便は下記のとおりです。

運行路線	平日		土・日・祝日	
	道の駅発	道の駅着	道の駅発	道の駅着
池河内線	12:25 16:00 17:35	7:49 13:49 17:29	10:28 12:25 17:50	7:49 12:16 14:13
小屋・谷田部線	12:15 14:30 16:15 17:30	10:25 13:50 16:05 17:21	12:25 16:25 17:55	7:55 12:20
宮川線 (月・水・金)	14:08	9:35	—	—



4月から一部の路線で

ダイヤ改正・増便を実施

4月1日より、JR小浜線のダイヤ改正などに合わせて、あいあいバスの運行ダイヤを一部変更、増便を実施します。

■田島線・泊線

平日の8時から10時の間の一部運行ダイヤが7分遅くなります

■池河内線

土・日・祝日の「道の駅」発10時28分と「池河内」発13時34分の便を増便し、「道の駅」発17時55分の便の運行ダイヤが5分早くなります

■小屋・谷田部線

平日の「小屋」6時54分発の運行ダイヤが10分早くなります

■流星バス

「流星館」6時40分発の運行ダイヤが10分早くなります

※詳しくは、3月下旬に全戸配布する時刻表を確認してください



読みやすいユニバーサル
デザインフォントを採用



発行 編集

福井県小浜市
〒917-8585 小浜市大手町6番3号
企画部市民協働課 ☎64・6009 FAX53・0742

ホームページ <https://www1.city.obama.fukui.jp/>
電子メール kouhou@city.obama.fukui.jp
印刷 若越印刷(株) 小浜営業所

Life 写真連載
輝く子どもたち



数珠練り (西小川・1月18日)

 市公式 Facebook
地域の出来事などを
発信しています



編集後記

●令和元年度福井県広報コンクールの映像部門で知事賞を受賞しました▶映像作品は漁業と民宿にスポットを当てた「OBAMA FOOD CARAVAN 未来を描くふたつの文化」▶平成29年度と同コンクールでも知事賞を受賞したシリーズの3作目で、映像美へのこだわりが評価されました▶You Tubeで公開していますので、ぜひご覧ください(竹)

●今季は過去に類を見ない暖冬となりました▶本市で1月に積雪がなかったのは、記録を取り始めて以来初の出来事だとか▶市内で季節の草花撮影に出かけた2月2日には、積雪よりも早く咲いた梅の花が見られました▶その後、2月7日に今季初めて雪が積もった際には、どこかホッとした気分▶四季折々の風景がそこにある幸せを改めて感じた瞬間でした(池)

● 人の動き (2月1日)

【人口】 29,165人 (前月比 -25人)	【男性】 14,337人	【転入】 28人	【転出】 46人
【世帯数】 12,116世帯	【女性】 14,828人	【出生】 27人	【死亡】 34人